

《履修上の留意事項》精神保健福祉論Ⅰ、精神保健福祉論Ⅱを履修済であることが望ましい。

【面接授業のみ実施】

《担当者名》佐藤 園美

【概 要】

精神保健福祉論Ⅰ（2年後期）、精神保健福祉論Ⅱ（3年前期）の内容を踏まえ、精神障害者に対する福祉制度の概要と福祉サービスについて理解し、精神保健福祉に関する社会保障制度（医療保険制度、介護保険制度、所得保障等）を学ぶ。さらに更生保護制度、医療観察法の概要についても学ぶ。

【学習目標】

- 1 実践に必要な知識習得のため、精神障害者に関連する社会保障制度の概要を理解する。
- 2 実践に必要な知識習得のため、更生保護制度と医療観察法の概要を理解する。
- 3 精神障害者を対象とした福祉施策・事業について説明する。
- 4 医療観察法の意義と社会復帰調整官等の役割について説明する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	精神保健福祉の歴史と精神保健福祉法	精神保健福祉論Ⅱの振り返り	佐藤
2	相談援助に係る組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者①	精神障害者の支援に必要な社会資源 精神障害者の地域生活を念頭に、生活支援の基本的な考え方を学ぶ	佐藤
3	相談援助に係る組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者②	精神障害者の福祉サービスとインフォーマルな社会資源の役割	佐藤
4	相談援助に係る組織、団体、関係機関および専門職や地域の支援者③	専門職や地域住民の役割と実践 事例をもとに、精神障害者の地域支援について考える（グループディスカッション）	佐藤
5	精神障害者に関連する社会保障制度の概要①	精神障害者と社会保障制度 精神保健福祉分野の社会保障制度について学ぶ	佐藤
6	精神障害者に関連する社会保障制度の概要②	医療保険制度と介護保健制度	佐藤
7	精神障害者に関連する社会保障制度の概要③	経済的支援に関する制度 精神障害者の所得補償について学ぶ	佐藤
8	更生保護制度の概要と精神保健福祉との関係	刑事司法と更生保護制度について学ぶ	佐藤
9	医療観察法の概要と実際①	医療観察法の概要	佐藤
10	医療観察法の概要と実際②	医療観察法の意義と社会復帰調整官の役割	佐々木渉（特別講師） 佐藤
11	医療観察法の概要と実際③	司法・医療・福祉の連携の必要性和実際 事例を基にしたグループワーク（ディスカッション）	佐々木渉（特別講師） 佐藤
12	社会資源の調整・開発にかかる社会調査	社会調査の意義と目的 社会調査をもとに社会資源の調整・開発に結び付けた事例を学ぶ	佐藤
13	精神障害者等を対象とした福祉施策・事業①	精神障害者へのアウトリーチ支援、自殺対策、認知症高齢者等の支援施策、ひきこもり支援施策についてのプレゼンテーション	佐藤
14	精神障害者等を対象とした福祉施策・事業②	発達障害者等支援施策、高次機能障害者への支援施策、障害者虐待防止法、障害者差別解消施策についてのプレゼンテーション	佐藤
15	精神障害者等の福祉制度と福祉サービス	授業全体のまとめ	佐藤

【評価方法】

課題レポート（特別講師ほか）20%、 プレゼンテーション30%、定期試験50%

【備 考】

教科書：日本精神保健福祉士養成校協会編集 『新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉に関する制度とサービス 第6版』 中央法規（2018）

参考書：『社会保障の手引き 施策の概要と基礎資料 2020年度版』 中央法規

その他：この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉に関する制度とサービス」に該当する。

【学習の準備】

指定した法律の概要について調べノートにまとめる。

プレゼンテーションについては担当する課題について必要な資料等を集め準備する。

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を事前に読んでを予習しておくこと。（80分）

毎回の授業後にリアクションペーパーに記入した疑問点を中心に内容を整理することにより学習を深めること。（80分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,4

【実務経験】

精神保健福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

精神科病院、社会復帰施設での精神保健福祉士としての実務経験に基づき、精神保健福祉に関連する社会保障制度、サービスについて具体的な事例を用いて講義する。